

# Rigo Concept BSPTS PSSE Certification Program

Physiotherapeutic Scoliosis-Specific Exercises (PSSE) 認定取得のための教育課程

## Rigo Concept BSPTS の歴史

Rigo Concept BSPTS (Barcelona Scoliosis Physical Therapy School) は、側弯症およびその他の構築性脊柱障害に対する保存的治療に関して、理学療法士 (Physiotherapists)、装具士 (Orthotists)、医師 (Medical Doctors) の教育を目的とした国際的な教育機関です。BSPTS は、エビデンスに基づく多職種連携医療を推進し、その教育理念を International Society on Scoliosis Orthopaedic and Rehabilitation Treatment (SOSORT) の推奨事項に沿って構築しています。

BSPTS の起源は 1960 年代に遡ります。当時、カタルーニャ出身の理学療法士 Elena Salva が、Schroth Method をスペイン・バルセロナに導入しました。Schroth Method は 1921 年にドイツで Katharina Schroth によって開発され、その後、理学療法士である娘の Christa Lehnert-Schroth によって発展・普及されました。Elena Salva は Katharina と Christa の両者から直接指導を受けた後、バルセロナにおいて Schroth Method に基づく側弯症リハビリテーションを確立しました。

1980 年代後半になると、Dr Manuel Rigo、Dr Gloria Quera-Salva (Elena Salva の娘)、そして理学療法士 Núria Puigdevall Coderch が、臨床経験、研究活動、ならびに側弯症治療における科学的進歩を基盤として、このアプローチのさらなる発展と洗練に取り組みました。その結果、従来の Schroth Method の枠組みを超えた、重要な概念적および技術的進化がもたらされました。

これらの発展を受け、バルセロナのチームは 2008 年に「Schroth」の名称による理学療法士認定を終了し、独立した側弯症特異的理学療法アプローチとして Rigo Concept BSPTS を正式に確立しました。Rigo Concept BSPTS は、独自の分類システム、治療原則、矯正戦略、および臨床推論プロセスを有しています。

現在、オリジナルの Schroth Method から直接派生した教育体系は 3 つ存在します。A.M. Hennes による ISST-Schroth、Dr Hans-Rudolf Weiss による Schroth Best Practice®, そして Dr Manuel Rigo とその共同研究者によって発展した Rigo Concept BSPTS です。これら 3 つの体系は共通の歴史的起源を有していますが、それぞれが独自に発展を遂げ、現在では重要な概念的・技術的相違を持つ異なるアプローチとして確立されています。

## Rigo Concept BSPTS 認定コースの一般目的

Rigo Concept BSPTS 認定コースは、側弯症およびその他の構築性脊柱障害の多職種連携による管理に効果的に参画するために必要な知識と臨床技能を、医療専門職に提供することを目的として設計されています。SOSORT Clinical Practice Guidelines に基づき、本コースは以下を目的としています。

- 側弯症の評価、自然経過、予後、および保存的治療法を含む、側弯症に関する包括的な理解を深める。
- 多職種チームの一員として効果的に貢献するために必要な、各専門職に特化した知識と能力を習得する。
- エビデンスに基づく臨床意思決定を促進するとともに、側弯症の原因および進行に関する理論、評価方法、ならびに非手術的治療戦略（特に理学療法および装具療法に関連するもの）を検討する際に、批判的思考と建設的な臨床推論能力を養う。

側弯症管理に携わる医療専門職がそれぞれ異なる役割を担うことを踏まえ、Rigo Concept BSPTS は以下の 3 つの主要な専門分野に対して専用の認定教育プログラムを提供しています。

- Rigo Concept Medical Management – Medical Doctors 向け
- Rigo Concept PSSE (Physiotherapeutic Scoliosis-Specific Exercises) – Physiotherapists 向け
- Rigo Concept Bracing – Orthotists 向け

各認定プログラムは、Rigo Concept の中核となる理念と原則を共有しながら、それぞれの専門職に求められる臨床的責任、意思決定プロセス、および実践的スキルに応じた専門教育を提供します。

以下では、Physiotherapists を対象とした Rigo Concept PSSE Certification Program について詳しく説明します。

## BASE LEVEL

### 側弯症および構築性脊柱障害に関する基礎知識

Base Level コースは、側弯症およびその他の構築性脊柱障害に関する基礎的理解を得ることを希望する医療専門職を対象とした、オンライン教育プログラムです。本コースは、側弯症およびその他の構築性脊柱障害を有する患者の多職種連携による管理に効果的に参画するために必要な基礎知識を提供し、Rigo Concept PSSE Certification Pathway への入口となります。

本コースは、各 10～15 分程度の事前収録講義約 40 本で構成され、総学習時間は約 8～10 時間です。参加者は、4 か月の期間内に自分のペースでコースを修了することができます。

Level 1 Rigo Concept PSSE コースへの進級を希望する Physiotherapists は、Level 1 開始日の遅くとも 2 週間前までに Base Level コースを修了している必要があります。

### 学習到達目標

Base Level コース修了後、参加者は以下のことができるようになります。

- 側弯症およびその他の構築性脊柱障害の病因、発症機序、および三次元的特性を理解する。
- 矢状面および前額面における脊柱および体幹の形態学的変化を説明する。
- 側弯症患者に対して包括的な問診および機能評価を実施する。
- 一般的な構築性脊柱障害を認識・分類し、適切な臨床診断を行う。
- 側弯症管理において一般的に用いられる Quality of Life (QOL) 評価指標を解釈する。
- 現代的なデジタル評価ツールを用いて、画像診断所見を分析・解釈する。
- Physiotherapeutic Scoliosis-Specific Exercises (PSSE) および装具療法を含む非手術的治療アプローチの原則、適応、および限界を理解する。
- 保存的側弯症治療における科学的エビデンスの重要性を理解する。
- SOSORT Guidelines for Clinical Practice に示される原則を臨床に適用する。

## 教育ユニット (Educational Units)

Base Level カリキュラムは、11 の教育ユニット (Educational Units: EU) で構成されています。

### EU 1 – 正常な脊柱 (The Normal Spine)

脊柱および体幹の解剖学、バイオメカニクス、幾何学的特性、ならびに三次元的な安定化機構について学ぶ。

### EU 2 – 矢状面障害 (Sagittal Plane Disorders)

若年性過後弯症 (Scheuermann 病) を含む、脊柱の矢状面アライメントに影響を及ぼす形態学的障害について学ぶ。

### EU 3 – 側弯症の基礎 (Scoliosis Fundamentals)

側弯症の定義、特徴、および三次元的特性について学び、病因、発症機序、および進行に関する現在の概念を理解する。

### EU 4 – 側弯症の分類 (Types of Scoliosis)

Early Onset Scoliosis (EOS)、Adolescent Idiopathic Scoliosis (AIS)、および Adult Degenerative Scoliosis (ADS) の概要を学ぶ。

### EU 5 – 特発性側弯症の自然経過 (Natural History of Idiopathic Scoliosis)

側弯症の進行、予後、骨成熟、および自然経過に影響を及ぼす要因について学ぶ。

### EU 6 – 臨床評価 (Clinical Assessment)

デジタル姿勢評価、機能評価、Scoliometer 測定、スパイロメトリー (肺機能検査)、および Quality of Life (QOL) 評価ツールについて学ぶ。

### EU 7 – 画像評価 (Radiological Assessment)

デジタル計測ソフトウェアを用いた画像評価について学ぶ。内容には、Cobb 角測定、椎体回

旋評価、Central Sacral Vertical Line (CSVL) の解析、Point of Inflexion の同定、および骨盤パラメータ評価が含まれる。

### **EU 8 – 非手術的管理 (Non-Surgical Management)**

PSSE、装具療法、および現在の治療アプローチの概要を含む、エビデンスに基づいた側弯症の保存的管理について学ぶ。

### **EU 9 – 装具療法入門 (Introduction to Bracing)**

装具療法の原則、スキャン技術、装具分類システム、および Rigo Concept Brace の基本概念について学ぶ。

### **EU 10 – 外科的治療入門 (Introduction to Surgical Management)**

手術適応、治療目標、現代の手術手技、および側弯症手術における現在のアプローチの概要について学ぶ。

### **EU 11 – Rigo Concept BSPTS 入門 (Introduction to the Rigo Concept BSPTS)**

Rigo Concept BSPTS の基本原則について学び、Rigo Classification の概要および臨床意思決定における block diagrams の活用について理解する。

## **評価 (Assessment)**

知識の習得状況は、各 Educational Unit 修了時に実施される自己評価問題によって確認されます。さらに、コース修了時には最終の多肢選択式試験 (multiple-choice examination) が実施されます。

# **LEVEL 1 PSSE**

## **評価、分類、Principles of Correction、および基礎的治療戦略**

Level 1 PSSE は、Rigo Concept BSPTS の方法論を用いて、特発性側弯症および構築性矢状面障害を有する患者の評価、分類、および治療管理を行うために必要な中核的知識と実践的技能を、Physiotherapists に提供するプログラムです。

Level 1 は、Base Level コースで習得した基礎知識を土台として構築されており、臨床評価および画像評価、診断、予後予測、治療計画、分類、Principles of Correction、そして側弯症特異的運動療法の適用を含む、Rigo Concept の臨床推論フレームワークを学びます。

本コースでは、側弯症の三次元的特性と、Rigo Concept 治療の基盤となる Principles of Correction を包括的に理解することに重点が置かれています。参加者は、個々のカーブパターンを分析し、Rigo Concept Classification を適用し、適切な矯正戦略を選択するとともに、各患者の臨床的および画像学的所見に基づいた個別化治療計画を立案する方法を学びます。

Level 1 の中心的な学習内容の一つは、Unloading Starting Positions を用いた矯正運動の実践と、その矯正意識を立位姿勢および Activities of Daily Living (ADL) へ段階的に移行していくプロセスです。参加者は、Rigo Concept BSPTS の包括的な理念について理解をさらに深めるとともに、Dr Manuel Rigo が一貫して伝えている

## "Looking after the person, not just the curve"

（「カーブだけではなく、その人自身を大切にする」）

というメッセージを通じて、身体的な状態だけでなく、患者個人の全体的な健康と生活の質に目を向ける重要性を学びます。

また本コースには、Schroth を起源とする Rigo Concept の歴史的発展、Physiotherapeutic Scoliosis-Specific Exercises (PSSE) を支持する最新の科学的エビデンス、装具療法の原則、ホームエクササイズ処方、および体幹安定化戦略に関する教育も含まれています。

## コース構成 (Course Structure)

Level 1 は、6 日間の対面形式コースとして実施され、総教育時間は 48 時間（1 日 8 時間）です。本プログラムは、講義、実技ワークショップ、患者デモンストレーション、および Teacher の指導のもとで行われる技能習得セッションで構成されており、実技学習がコース内容の大部分を占めています。

参加者同士の活発な交流、十分な指導・監督、そして個別フィードバックの機会を確保するため、各コースの定員は最大 10 名に制限されています。

## 学習到達目標 (Learning Outcomes)

Level 1 修了後、参加者は以下のことができるようになります。

- 側弯症および関連する脊柱障害を有する患者に対して、包括的な臨床評価および画像評価を実施する。
- Rigo Concept Classification system に基づいて患者を分類する。
- 適切な診断、予後予測、および治療計画を立案する。
- Rigo Concept BSPTS の General Principles および Specific Principles を適用する。
- 個々のカーブパターンに応じた矯正戦略を選択し、実施する。
- 臨床所見および画像所見に基づいて、個別化された治療プログラムを作成する。
- 患者の状態およびカーブ分類に応じて、適切な Unloading Starting Positions を選択する。
- 矯正治療における volume control（容積コントロール）および hydro-pneumatic internal support mechanisms（水圧・空気圧による内部支持機構）の役割を理解する。
- Principles of Correction に基づいて、効果的な三次元的 corrective pathways（矯正経路）を構築する。

- 可能な限り機能的で安定し、バランスの取れた三次元的アライメントに向けて、患者の self-correction を促す。

## 教育ユニット (Educational Units)

### EU 1 – Rigo Concept 入門 (Introduction to the Rigo Concept)

Rigo Concept BSPTS の歴史と発展、バイオサイコソーシャルモデル (biopsychosocial model) に基づくケア、および治療の基盤となる主要な知識領域について学ぶ。

### EU 2 – Physiotherapeutic Scoliosis-Specific Exercises (PSSE)

PSSE の定義、SOSORT Clinical Practice Guidelines、および小児期・思春期・成人の側弯症に対する PSSE を支持する最新の科学的エビデンスについて学ぶ。

### EU 3 – 臨床評価および画像評価 (Clinical and Radiological Assessment)

包括的な臨床評価および画像評価、Rigo Concept Classification、診断、予後予測、治療計画、ならびに画像計測に関する実践的ワークショップを行う。

### EU 4 – General Principles および Specific Principles (一般原則および特異的原則)

Rigo Concept BSPTS において用いられる General Principles、Specific Principles、および各 Clinical Type に対してあらかじめ定義された矯正戦略について詳細に学ぶ。

### EU 5 – Starting Positions (開始姿勢)

側弯症およびその他の構築性脊柱障害の治療における Unloading Starting Positions の適用と、それに関連する矯正原則について学ぶ。

### EU 6 – 矢状面障害 (Sagittal Plane Disorders)

Pelvic Parameters、Roussouly Classification、Scheuermann 病、および各病態に応じた矯正戦略を用いた矢状面障害の治療について学ぶ。

### EU 7 – 側弯症 (Scoliosis)

側弯症の三次元的特性、脊柱のねじれ (spinal torsion)、自然経過、病因および発症機序 (etiopathogenesis)、ならびに進行に影響を及ぼす要因について学ぶ。

### EU 8 – Activities of Daily Living (ADL) への統合 (Integration into Activities of Daily Living)

矯正姿勢および self-correction の原則を、機能的な日常生活活動 (Activities of Daily Living: ADL) へ統合するための戦略について学ぶ。

## 評価 (Assessment)

参加者の知識および能力は、コース終了時に実施される筆記試験によって評価されます。

## Level 2 への進級 (Progression to Level 2)

臨床技能の定着を図り、Level 1 で学んだ内容を実際の臨床へ効果的に統合するために、修了者は Level 2 を受講する前に、Level 1 の概念および治療アプローチを最低 9 か月間臨床で実践することが推奨されています。

Level 2 は、通常、Level 1 修了後 3 年以内に受講することが推奨されています。Level 1 修了後 9 か月未満での Level 2 受講を希望する場合は、Level 2 コースの Teacher が個別に審査を行います。

Level 2 への申込み要件の一つとして、参加者はコース開始日の少なくとも 1 か月前までに Patient Case Report を提出する必要があります。詳細なガイドラインおよびテンプレートは、Level 1 修了後に提供されます。

Patient Case Report は、参加者が Rigo Concept の臨床応用について振り返る機会を提供するものです。内容には、患者評価、治療計画、得られた成果、直面した課題、および主要な学習経験などを含めます。

## LEVEL 2 PSSE

### 高度な矯正戦略、運動療法の発展、および監督下での臨床実践

Level 2 PSSE は、Level 1 で確立された基礎を発展させ、Rigo Concept BSPTS の枠組みの中で、臨床推論、矯正戦略、運動療法の発展、および高度な治療応用の洗練に重点を置いたプログラムです。

本コースは 6 日間（総教育時間 48 時間）にわたって実施され、プログラムの約 70% が実践的学習に充てられています。参加者は、監督下での患者対応や臨床応用を通じて学習を深め、Teacher の指導・監督のもとで患者と直接関わりながら、高度な矯正原則および治療技術への理解を発展させます。

Level 2 の中心的な目的は、治療計画および治療実践における Principle of Specificity（特異性の原則）をさらに深く理解し、その応用能力を高めることです。参加者は、患者ごとの特性に応じて矯正戦略をさらに個別化し、患者の状態に合わせて **corrective pathway**（矯正経路）を洗練させるとともに、矯正効果および機能的統合を高めるための高度な運動療法のバリエーションを学びます。

また本コースでは、高度な骨盤矯正戦略、段階的な **muscle activation**（筋活動の活性化）技術、そして三次元的なバランス、アライメント、および安定性をより効果的に獲得するための方法について学びます。さらに、矯正運動を効率的な動作パターンへと発展させ、それらを日常生活や長期的な **self-management**（自己管理）に統合していくことに重点が置かれています。

### 学習到達目標（Learning Outcomes）

Level 2 修了後、参加者は以下のことができるようになります。

- Rigo Concept Classification system を用いて、臨床診断および画像診断を行う。

- 治療計画および運動療法の処方において、Principle of Specificity（特異性の原則）を適用する。
- 個々の患者の特性および臨床的特徴を考慮した高度な corrective pathway（矯正経路）を構築する。
- 各 Clinical Type に応じた高度な骨盤矯正戦略を実施する。
- 矯正効果および治療成果を向上させるために、高度な muscle activation（筋活動の活性化）技術を適用する。
- 矯正姿勢の三次元的な安定性および機能的統合をさらに促進する。
- 個々の患者のニーズに応じて、高度な運動療法および運動バリエーションを選択し、実施する。
- 監督下での患者実践を通じて、臨床推論能力および治療進行に関する技能をさらに発展させる。

## 教育ユニット（Educational Units）

### EU 1 – 復習と統合（Review and Consolidation）

Rigo Concept BSPTS における General Principles、Specific Principles、および各 Clinical Type に対応するあらかじめ定義された矯正戦略について復習し、理解を深める。

### EU 2 – Principle of Specificity と Corrective Pathway（特異性の原則と矯正経路）

Principle of Specificity（特異性の原則）、corrective pathway（矯正経路）の構築、および構築性脊柱障害を有する患者におけるバランス、アライメント、三次元的機能安定性の獲得について詳しく学ぶ。

### EU 3 – 側弯症と臨床診断（Scoliosis and Clinical Diagnosis）

側弯症の三次元的特性、脊柱のねじれ（spinal torsion）が骨盤力学に及ぼす影響、ならびに Rigo Concept Classification system の臨床的および画像学的応用について理解を深める。

### EU 4 – 高度な運動療法（Advanced Exercises）

Rigo Concept BSPTS の治療原則に基づく高度な矯正運動および運動療法の発展的バリエーションについて学び、その適用方法を習得する。

### EU 5 – Muscle Activation Strategies（筋活動活性化戦略）

Rigo Concept における muscle activation（筋活動の活性化）技術を理解し、その適用方法を学ぶ。これにより、external support systems（外部支持システム）と internal support systems（内部支持システム）の相互作用を最適化することを目指す。内容には、muscle activation の各段階、longitudinal tracing（縦方向のトレース）、および transversal tracing（横方向のトレース）が含まれる。

### EU 6 – Functional Integration（機能的統合）

neuroplasticity（神経可塑性）および habituation（習慣化）の原則を活用し、Activities of Daily

Living (ADL) において可能な限り安定し、機能的かつ効率的な三次元的アライメントを維持するための方法を学ぶ。

### **EU 7 – Supervised Clinical Practice (監督下での臨床実践)**

参加者が側弯症およびその他の構築性脊柱障害を有する患者を治療する際に、Teacher による直接的な指導・監督を受ける。これにより、Level 1 および Level 2 で学んだ概念を実際の臨床場面の中で統合し、応用する機会を得る。

### **評価 (Assessment)**

Level 2 では、継続的評価 (continuous assessment) モデルを採用しています。参加者は、理論的知識および実践的技能を適用する過程において、コース期間を通じて継続的なフィードバック、サポート、および評価を受けます。

Teacher は、さらなる理解の深化や技能向上が必要な参加者に対して、コース期間中を通じて追加の指導と支援を提供します。また、必要に応じてコース修了後にも継続的なサポートを行います。

### **追加教育リソースへのアクセス (Access to Additional Educational Resources)**

Level 2 を修了した参加者には、Dr Manuel Rigo による以下の包括的な特別講義への無料アクセスが提供されます。

- **Rigo Concept Bracing: Integrative Scoliosis Care Model**  
(Rigo Concept Brace による統合的側弯症ケアモデル)
- **Adult Spinal Deformity: Definition, Clinical and Radiological Aspects**  
(成人脊柱変形の定義、臨床的および画像学的特徴)

### **Level 3 への進級 (Progression to Level 3)**

Level 3 を受講する前に、参加者は以下の 2 つの課題を作成し、提出する必要があります。

#### **1. Clinical Case Report (症例報告書)**

参加者は、更新版の Clinical Case Report (症例報告書) を提出する必要があります。これは、Level 2 受講時に提出した症例の継続報告でも、新たな患者症例でも構いません。

報告書には、Rigo Concept の継続的な臨床応用が示されている必要があり、患者情報の更新、治療経過、運動療法の発展、および参加者による運動療法の実践を示す動画を含める必要があります。

これらの提出物を事前に確認することで、Level 3 Teacher は各参加者の現在の理解度および臨床応用能力を把握することができ、コース期間中により個別化された学習体験を提供することが可能となります。

## 2. Scientific Poster（学術ポスター）

参加者は、自身の臨床経験の中で特に興味を持ったテーマまたは症例を題材として、学会発表形式に準拠した Scientific Poster（学術ポスター）を作成する必要があります。

両課題に関する詳細なガイドラインは、Level 2 修了後に提供されます。

# LEVEL 3 PSSE

**Advanced Corrections（高度な矯正技術）、Full Corrective Pathway（完全な矯正経路）、Adult and Post-Surgical Management（成人および術後管理）、Group Treatment Strategies（グループ治療戦略）、および Orthopedic and Rehabilitative Care（装具・整形学的管理とリハビリテーション管理）の最終統合**

Level 3 PSSE は、Rigo Concept BSPTS Physiotherapeutic Scoliosis-Specific Exercises（PSSE）認定プログラムにおける最終段階です。本コースでは、Advanced Corrections（高度な矯正技術）、Full Corrective Pathway（完全な矯正経路）の構築、Adolescent Idiopathic Scoliosis（AIS）、成人側弯症、および Post-Surgical Rehabilitation（術後リハビリテーション）への Rigo Concept の応用、さらに少人数グループでの患者管理のための Group Treatment Strategies（グループ治療戦略）について学びます。

また、本コースでは Orthopedic and Rehabilitative Care（装具・整形学的管理とリハビリテーション管理）の原則について総合的な復習と統合を行い、Rigo Concept BSPTS の基盤となる多職種連携アプローチへの理解をさらに深めます。

Level 3 は 6 日間（総教育時間 48 時間）にわたり実施され、理論学習と実践学習を組み合わせた構成となっています。プログラムの約 60% は実践的学習に充てられ、患者への直接的な治療、監督下での臨床的問題解決、および高度な矯正戦略の実践が含まれます。

Level 3 では、認定プログラム全体を通して学んだすべての概念を統合することに重点が置かれています。参加者は、複雑な症例の分析能力をさらに高め、完全な Corrective Pathway（矯正経路）を構築し、Advanced Corrections（高度な矯正技術）を適用するとともに、思春期側弯症、成人側弯症、術後リハビリテーション、および複雑な構築性脊柱障害を含む幅広い臨床場面において患者を管理する能力を発展させます。

本コースでは実際の患者に対する治療が重要な構成要素となるため、側弯症およびその他の構築性脊柱障害を有する方々が参加し、監督下での臨床学習および治療実践の機会を提供します。

## 学習到達目標（Learning Outcomes）

Level 3 修了後、参加者は以下のことができるようになります。

- Rigo Concept Exercise Guidelines に基づき、Starting Positions（開始姿勢）を確認し、さらに洗練させる。
- Rigo Concept BSPTS の Principles（原則）に基づいて、完全な Corrective Pathway（矯正経路）を構築し、臨床へ適用する。
- Advanced Corrections（高度な矯正技術）および矯正の段階的発展を実施する。
- Advanced Muscle Activation Strategies（高度な筋活動活性化戦略）を適用し、External Support Systems（外部支持システム）を活用して治療効果を最大化する。
- 成人側弯症において一般的に認められる Compensatory Mechanisms（代償機構）を特定し、適切に管理する。
- Adult Degenerative (De Novo) Scoliosis（成人変性側弯症）と、成人にみられる Adolescent Idiopathic Scoliosis（AIS：思春期特発性側弯症）を区別する。
- 成人側弯症に関連する臨床的特徴および画像学的特徴を分析する。
- 現代の Surgical Approaches（外科的治療アプローチ）を理解し、手術前後における PSSE の役割を説明する。
- 側弯症管理に携わる Multidisciplinary Team（多職種チーム）の一員として効果的に協働する。
- Rigo Concept Brace の設計原則、適応、および臨床応用を理解する。
- 個別治療およびグループ治療の両環境において、PSSE を計画し実施する。

## 教育ユニット（Educational Units）

### EU 1 – Advanced Rigo Concept PSSE（高度な Rigo Concept PSSE）

Principle of Specificity（特異性の原則）のさらなる発展、Starting Positions（開始姿勢）の確認、およびバランス、アライメント、三次元的安定性を通じた姿勢矯正の洗練について学ぶ。

### EU 2 – Advanced Rigo Correction（高度な Rigo Concept 矯正技術）

Advanced Corrections（高度な矯正技術）、Muscle Activation Strategies（筋活動活性化戦略）、Tissue Modelling（組織モデリング）の概念、Regional Tracing（局所トレース）、Full Corrective Pathway（完全な矯正経路）の構築、および構築性脊柱障害と代償領域との間における三次元的調和の最適化について学ぶ。

### EU 3 – Adult Scoliosis（成人側弯症）

Adult Structural Spinal Disorders（成人の構築性脊柱障害）の定義、分類、および管理について学ぶ。内容には、Adult Degenerative (De Novo) Scoliosis（成人変性側弯症）および成人にみられる Adolescent Idiopathic Scoliosis（AIS：思春期特発性側弯症）が含まれる。また、

Compensatory Mechanisms（代償機構）および Clinical Decision-Making（臨床意思決定）に重点を置く。

#### **EU 4 – Surgical Approaches and Rehabilitation（外科的治療アプローチとリハビリテーション）**

側弯症に対する現代の Surgical Approaches（外科的治療アプローチ）の概要を学ぶ。内容には、手術適応、および術前・術後リハビリテーションにおける PSSE の役割が含まれる。

#### **EU 5 – Group Treatment Strategies（グループ治療戦略）**

側弯症およびその他の構築性脊柱障害を有する患者に対する Group-Based Treatment Sessions（グループ治療セッション）の企画、運営、および実施に必要な実践的戦略を学ぶ。

#### **EU 6 – Orthopedic Treatment and the Rigo Concept Brace（装具・整形学的管理と Rigo Concept Brace）**

Rigo Concept Brace のデザイン、Orthopedic Correction（装具・整形学的矯正）の原則、臨床適応、および Multidisciplinary Treatment Model（多職種連携治療モデル）における装具療法の統合について復習し、理解を深める。

### **Final Competency Assessment（最終能力評価）**

Level 3 では、参加者が Rigo Concept BSPTS の方法論を臨床現場において安全かつ効果的に適用できる能力を有していることを確認するため、包括的な Competency-Based Assessment Process（能力評価プロセス）が実施されます。

参加者は、以下の能力について評価されます。

- Levels 1～3 を通じて習得した概念および技能を十分に理解し、実践できることを示す。
- Level 3 Exercise Guidelines に基づき、適切な Starting Positions（開始姿勢）を確認し、適用する。
- Balance（バランス）、Alignment（アライメント）、および Functional Three-Dimensional Stability（機能的な三次元的安定性）を確立する。
- Rigo Concept BSPTS の Principles に基づき、完全な Scoliosis Corrective Pathway（側弯症の完全な矯正経路）を構築する。
- Body Volumes（胸腔・腹腔などの体腔容積）の均衡を達成し、Structural Regions（構築性変化を有する領域）と Compensatory Regions（代償領域）の間における Three-Dimensional Harmony（三次元的調和）を最適化する。
- Advanced Muscle Activation Strategies（高度な筋活動活性化戦略）を適用し、必要に応じて Asymmetric External Support Systems（非対称性外部支持システム）を活用する。

• **Tissue Modelling Principles**（組織モデリングの原則）、**Activation Zones**（活性化領域）、および **Corrective Tracing Concepts**（矯正トレースの概念）について理解し、それらを適切に適用できることを示す。

## **Certification**（認定）

Level 3 および **Final Competency Assessment**（最終能力評価）を修了し、すべての要件を満たした参加者には、**Rigo Concept BSPTS Physiotherapeutic Scoliosis-Specific Exercises**（PSSE）プログラムの認定が授与されます。

この認定は、理学療法士が **BSPTS** の教育課程をすべて修了し、**Rigo Concept BSPTS** の方法論を用いて側弯症およびその他の構築性脊柱障害を管理する **Multidisciplinary Team**（多職種チーム）の一員として活動するために必要な知識、**Clinical Reasoning**（臨床推論）、および実践的能力を修得していることを証明するものです。